



## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木克宗

<b>事業名</b> 一般国道113号 赤湯バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 東北地方整備局										
<b>起終点</b> 自：山形県南陽市大字竹原字加津木沢 至：山形県東置賜郡高畠町大字深沼字舟入	<b>延長</b> 7.2 km											
<b>事業概要</b> 赤湯バイパスは、新潟県岩船郡荒川町～山形県東置賜郡高畠町間に計画された地域高規格道路『新潟山形南部連絡道路』（延長約80km）の一部を構成する延長約7.2kmの国道113号のバイパスである。赤湯バイパスは、南陽市街地の国道113号現道にある大型車通行規制区間や運搬排雪区間などの劣悪な道路状況や、近年の交通量の増加に伴う交通混雑や旅行速度の低下等の問題解消を目的としている。												
<b>H7年度事業化</b> H6年度都市計画決定 H9年度用地着手 H11年度工事着手												
<b>全体事業費</b> 約320億円 <b>事業進捗率</b> 47% <b>供用済延長</b> 1.2km												
<b>計画交通量</b> 21,000台/日												
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 2.1 (残事業) 3.6	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 173/330億円 (事業費：142/299億円 維持管理費：31/31億円) <b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 618/690億円 (走行時間短縮便益：522/589億円 走行費用減少便益：64/68億円 交通事故減少便益：31/33億円)										
<b>感度分析の結果</b> 残事業・事業全体について感度分析を実施 【事業全体】交通量変動：B/C=2.3(交通量+10%) B/C=1.9(交通量-10%) 【残事業】交通量変動：B/C=3.9(交通量+10%) B/C=3.2(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.0(事業費+10%) B/C=2.2(事業費-10%) 事業費変動：B/C=3.3(事業費+10%) B/C=3.9(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.8(事業期間+20%) B/C=2.4(事業期間-20%) 事業期間変動：B/C=3.1(事業期間+20%) B/C=4.0(事業期間-20%)												
<b>事業の効果等</b> ・物流効率化の支援（農業を主体とする置賜地域において、農産物（ぶどう・洋ナシ等）の流通利便性が向上） ・災害への備え（現道の大型車通行規制区間、冬期交通障害区間（運搬排雪）を解消する） 他18項目に該当												
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 赤湯バイパスは、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、南陽市をはじめとする関係5市10町6村の首長で構成される『新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会』より、早期整備の要望（平成15年12月10日）を受けている。												
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。												
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 【執行済み額】事業費：150億円(進捗率 47%) うち用地費：49億円(進捗率 72%)												
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地補償協議で時間を要しているが、未買収用地について取得の推進を図り、平成20年度の全線暫定供用を目標に事業推進を図る。												
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 縦断線形見直しによる鉄塔移設費および盛土費用の縮減、軟弱地盤対策見直しによりコスト縮減を図っている。												
<b>対応方針</b> 事業継続												
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。												
<b>事業概要図</b>												
		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; width: 20px;"></td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #808080; width: 20px;"></td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; width: 20px;"></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d3d3d3; width: 20px;"></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>	凡 例			供用中		事業中		再評価箇所		うち供用中
凡 例												
	供用中											
	事業中											
	再評価箇所											
	うち供用中											

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

